



しんじょうやまだより

平成 28 年 8 月 25 日発行

《看護部》

8月5日（金）将来看護職を目指している高校生を対象にした「**高校生看護1日体験**」がありました。

青森厚生病院には5校から9名の生徒さんが来てくれました。

各病棟に分かれ、清拭、洗髪、手浴、足浴、食事介助、体位変換やストレッチャーの試乗体験、外来中央処置室、外来化学療法室の見学、リハビリテーションや心臓カテーテル検査の見学もできました。



皆さん熱心に取り組んでおり、患者さんへの声掛けや配慮もアドバイスを受けながら上手にできていました。

「看護は大変で責任のある仕事だけど、やりがいのある仕事！」との認識を再確認でき、楽しく充実した1日になったようです。

ご協力いただいた院内各所の皆様に感謝いたします。

特に指導者として、看護のスピリットをしっかり伝えてくれた、横山璃奈さん、佐藤千尋さん、江良さつきさん、佐藤幸成さん、どうもありがとうございました。



《褥瘡対策委員会より》

褥瘡対策委員会では患者さんの褥瘡予防に重点を置き活動しています。また、他施設からの持ち込みや入院中に発生した褥瘡の事例を情報共有し、医師のアドバイスを受けながら最良のケアが行えるよう取り組みを行っています。

褥瘡は医師・看護師・看護助手のみの努力ではよくなりません。薬剤科・栄養科・リハビリ科等、他職種の方々と連携しながら予防・治療を行っていきたいと考えています。

～褥瘡委員会からのお知らせ～

褥瘡部切開術の目的で外科頼診をする場合、情報共有のため患者さんの感染症全般（MRSA・ESBL 等含む）や、現在摂取している総カロリー数を頼診券に記載していただくようお願いいたします。



(次回は医局と化学療法委員会です)